

2 パラスポーツの振興

「東京都スポーツ推進総合計画」（平成30年3月）及び『「未来の東京」戦略』（令和3年3月）に基づき、「理解促進・普及啓発」「場の開拓／人材の育成」「競技力向上」の視点から、パラスポーツ振興に向けた施策の展開を図っている。

(1) 理解促進・普及啓発

ア 障害者スポーツ専門ポータルサイトTOKYO障スポ・ナビ

障害のある人やパラスポーツを支える人を対象に、都内のパラスポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を掲載した障害者スポーツ専門ポータルサイト「TOKYO障スポ・ナビ」を運営する。

【令和4年度実績】

- ・掲載情報件数
イベント・教室等 151件、施設 651件、地域スポーツクラブ等 94件
- ・ページビュー数 161,734件

イ チャレスポ! TOKYO

障害のある人にもない人にもパラスポーツを知ってもらい、理解と共感を深めてもらうとともに、障害のある人にスポーツの楽しさや効用を知ってもらい、スポーツを始めるきっかけを提供する。

【令和4年度実績】

- ・メインイベント
日時：令和4年10月8日（土） 会場：有明アリーナ
実施内容：パラスポーツ体験コーナー、パラスポーツの用具や写真等の展示、ゲストと子供たちの対戦企画、オンライン参加型ポッチャ体験 等
- ・地域イベントへのブース出展（2回）



ゲストと子供たちの対戦企画の様子

ウ スポーツの効用等に関するコンテンツ発信事業

スポーツや運動に関心を持たない障害のある人に向けて、当事者の体験や専門的な見地等から効用等を示す動画を制作（令和4年度）し、インターネット等を通じて発信するとともに、身近な人からスポーツや運動を勧めるツールとして活用してもらうことで、障害のある方のスポーツ実施につなげる。

【令和4年度実績】

動画8本、パンフレットを作成



スポーツははじめました動画



パンフレット

エ パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」

パラスポーツのファン・サポーターを増やし、パラスポーツの認知度を飛躍的に向上させるとともに、パラスポーツが継続して社会に根付くようにするため、多様なメディアを活用し、パラスポーツへの関心を高めるための総合的な普及啓発事業を実施する。

具体的には、パラスポーツの応援プロジェクト「TEAM BEYOND」を展開し、大会情報の発信や、登録メンバーを始め幅広い層が参加できるパラスポーツに関連したイベント、企業・団体によるパラスポーツ支援の後押しなどを行っている。

登録者数 約140万人

【令和4年度実績】

- ・メディアを活用した情報発信（LINE公式アカウントの開設、パラスポーツの魅力伝える動画配信 等）
- ・パラアスリートによるトークショーや障害の有無を問わず参加できるボッチャ大会などパラスポーツの魅力を体感できるイベント「BEYOND STADIUM 2022」の実施
- ・TEAM BEYONDパラスポーツ漫画パネル展の実施
- ・企業・団体によるパラスポーツ振興の取組事例の紹介
- ・企業・団体向けカンファレンス、交流会の実施（2回）
- ・観戦会の実施（5回）



BEYOND STADIUM 2022の様子



企業・団体向けカンファレンスの様子

オ 都内におけるパラスポーツ国際大会の開催促進

より多くの観戦機会を提供し、パラスポーツの一層の振興を図るため、都内で開催される

パラスポーツの国際大会の開催を促進する。

【令和4年度実績】

4大会

カ 障害者のスポーツに関する意識調査

「『未来の東京』戦略（令和3年3月）」における政策目標（障害のある都民（18歳以上）のスポーツ実施率を2030年までに50%）の達成状況を把握するとともに、障害のある人のスポーツ活動に関する意識や実態を把握し、今後のパラスポーツ振興に資する施策展開の基礎資料として活用する。

【令和4年度実績】

無記名式のインターネット調査

調査期間 令和4年9月6日（火）～9月16日（金）

（調査結果の主なポイント）

- ・週に1日以上スポーツや運動を実施した人（障害のある都民）は35.2%
（前回（令和3年度）調査：35.4%）
- ・スポーツや運動を実施した場所とこの1年間に実施したスポーツや運動の回答結果から、身近な場所において、取り組みやすい運動を実施した人が多い
場所：道路や遊歩道、自宅が上位を占める
実施したスポーツや運動：ウォーキング、散歩、体操

キ パラスポーツスタートガイド

パラリンピック競技をはじめ様々な競技スポーツの魅力や、競技スポーツを始める上で役立つ情報を提供するため、専用ウェブサイトを経営しパラスポーツに関する情報等を発信している。

【令和4年度実績】

ページビュー数：218,403件

ク TOKYOパラスポーツチャンネル

競技観戦できる機会を広く提供し、パラスポーツへの興味・関心を高めるため、都内やその近郊で実施されるパラスポーツ大会をケーブルテレビ等で中継・配信する。

【令和4年度実績】

6大会

ケ パラスポーツ体験プログラム

パラスポーツ全般の競技体験やアスリートによるデモンストレーション、競技紹介パネル等の展示など、パラスポーツの魅力を体験できるプログラムを区市町村や大学等と連携して実施し、都民へパラスポーツの理解促進を図る。

【令和4年度実績】

15会場



陸上競技（義足体験）の様子



DXコンテンツ（アルペンスキー）の様子

コ 「TOKYOパラスポーツ月間」事業

東京2020パラリンピックを開催した8月・9月を「TOKYOパラスポーツ月間」と位置付け、多様な主体と連携し、パラスポーツ体験や観戦など様々な取組を集中的に展開することで、東京大会の感動と記憶を共有するとともに、パラスポーツムーブメントの更なる発展につなげる。

【令和4年度実績】

- ・パラスポーツイベントの実施（2回）
- ・東京2020パラリンピック1周年イベントの実施
- ・パラスポーツシンポジウムの実施
- ・商業施設等におけるパラスポーツ体験や用具展示の実施



東京2020パラリンピック1周年イベントの様子



パラスポーツシンポジウムの様子

サ 区市町村スポーツ実施促進事業（パラスポーツ推進事業）

パラスポーツ推進事業においては、パラスポーツへの関心向上や障害のある人のスポーツ実施促進につなげるために区市町村が行う事業を支援することにより、障害のある人が身近な地域で継続的にスポーツを楽しめる環境の拡大・整備を図る。

（対象事業については212ページ1(3)キ「区市町村におけるスポーツ振興施策への支援」参照）

(2) 場の開拓（開拓整備事業）

ア パラスポーツ地域サポート事業

パラスポーツ事業のノウハウを持つアドバイザーが、区市町村や地域スポーツクラブ等

を訪問するなど、事業の企画・実施を支援するほか、事業実施に必要な指導者等のコーディネートや用具の貸与を通じて、身近な地域でスポーツを楽しめる環境づくりを図る。

また、都内自治体を6ブロックに分け、地域におけるスポーツと福祉・医療等他分野との連携事例の紹介や、区市町村間で取組状況や課題について意見交換を行う地域ブロック関係者連絡会議を実施している。

【令和4年度実績】

- ・開拓推進事業 89件
- ・指導員等派遣事業 66名
- ・用具貸与事業 73件
- ・地域ブロック関係者連絡会議 第1回：46自治体、第2回：41自治体が参加

イ パラスポーツコンシェルジュ事業

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会において、パラスポーツを支援したいという民間企業等の意向を選手や競技団体につなぐための相談窓口を設けるとともに、障害のある人に対してスポーツに関する情報提供や助言を行い、パラスポーツの一層の推進を図る。

また、企業と競技団体間のネットワークの構築及びマッチングにつなげることを目的として交流会を開催する。

【令和4年度実績】

- ・問合せ及び相談件数 207件
- ・交流会 参加者：61名
(企業：15社 25名 競技団体：16団体 30名 オンライン参加 6名)

ウ 都立特別支援学校活用促進事業

障害のある人や障害者スポーツ団体等が、身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都立特別支援学校の体育施設を、パラスポーツの拠点の一つと位置付け学校教育活動に支障のない範囲で平日夜間や土日・祝日に開放し、活用を促進する。

また、事業実施校にて児童、生徒や地域住民等が参加できるスポーツやスポーツ・レクリエーションの体験教室を開催する。令和5年度は、加えて普段スポーツを行っていない方やスポーツが苦手な方でも参加しやすいよう、新たに、予約せずに気軽に参加でき、かつ障害特性に応じて自分に合った種目を自由に選択できる「パラスポーツレクリエーションひろば」を実施するとともに、スポーツに関心のない方の参加のきっかけともなるよう、音楽やダンス等のパフォーマンスも組み合わせて実施する。

【都立特別支援学校活用促進事業実施校（令和5年度31校）】

城東特別支援学校(江東)	墨東特別支援学校 (江東)	臨海青海特別支援学校 (江東)
品川特別支援学校(品川)	永福学園(杉並)	大塚ろう学校(豊島)
王子特別支援学校(北)	北特別支援学校(北)	高島特別支援学校(板橋)
大泉特別支援学校(練馬)	足立特別支援学校(足立)	花畑学園(足立)
水元小合学園(葛飾)	水元特別支援学校(葛飾)	鹿本学園(江戸川)
白鷺特別支援学校 (江戸川)	八王子西特別支援学校 (八王子)	八王子東特別支援学校 (八王子)
八王子盲学校(八王子)	南大沢学園(八王子)	青峰学園(青梅)
府中けやきの森学園 (府中)	武蔵台学園(府中)	調布特別支援学校(調布)
小金井特別支援学校 (小金井)	小平特別支援学校(小平)	東久留米特別支援学校 (東久留米)
村山特別支援学校 (武蔵村山)	多摩桜の丘学園(多摩)	羽村特別支援学校(羽村)
あきる野学園(あきる野)		

※平成28年度から令和2年度までは、「都立学校活用促進モデル事業」として実施

【令和4年度実績】

体験教室開催回数：127回

※講習会・オンライン体験教室・パラスポーツ競技体験プログラムを含む。



聴覚障害者卓球教室



手のひら健康バレー教室

エ 動画を活用した運動・QOL向上事業

自宅や障害者福祉施設などの身近な場所で気軽に取り組める運動を動画で広く紹介する。
また、障害者福祉施設及びパラスポーツ指導員等を対象に運動動画に関する研修を実施し、施設等での動画の積極的な活用につなげる。

【令和4年度実績】

研修会 2回

オ 障害者のスポーツ施設利用促進事業

身近な地域のスポーツ施設における障害のある人の利用に際して、施設管理者が配慮すべきポイントを掲載した「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」（令和4年度改訂）について、区市町村及び民間のスポーツ施設での活用を図る。



また、区市町村スポーツ施設に対して、パラスポーツの専門知識を有するアドバイザーを派遣し、施設のニーズや状況に合わせて、障害のある人のスポーツ施設の利用促進に向けた支援を実施する。

カ TOKYOユニバーサルウォーキング普及事業

既存のウォーキングアプリに障害者が使いやすい機能を付加し、身近な場所での活用を促すことで、障害者の日常的なウォーキングを促進する。

また、都内各地域でバリアフリーが整った当該コースでのウォーキングを促す企画を実施する。

【令和4年度実績】

- ・バリアフリーに配慮したウォーキングコース5コースを設定
- ・「みんなで歩こう」ウォーキングイベントの実施

コース	実施日	参加人数
TOKYOスポーツレガシーコース	令和4年11月20日（日）	37名
東京の自然・歴史を感じるFUCHUコース	令和4年12月3日（土）	49名

キ パラスポーツリモート参加事業

遠隔操作によりコミュニケーションが可能な分身ロボットを活用し、外出困難な重度障害者等がパラスポーツの体験教室やボランティア参加など「する・みる・支える」の様々なスポーツ活動に参加できる機会を提供する。

【令和4年度実績】

- ・都主催スポーツイベントでの実施：6回
- ・参加施設：12施設

ク デジタル技術を活用したパラスポーツ（eパラスポーツ）事業【新規】

外出が困難であるものの、体を動かす意欲のある障害のある人に、自身で操作できるよう個々の状態に合わせて加工した機器を福祉施設等に提供するとともに、障害のある人となり人が交流できる機会を創出する。

ケ 障害児・者の運動習慣定着支援事業【新規】

障害者の日中の居場所である福祉施設や放課後等デイサービスなどを対象に指導者を派遣し、利用者の障害種別や程度等に応じた運動を定期的実施することで、身体を動かすことの習慣化を図るとともに、スポーツ施設に出向いていただくきっかけを提供する。

実施に当たっては、地域のスポーツ関係者やスポーツ施設職員等とも連携を行い、将来的な障害のある人の受入環境の拡大につなげていく。

コ スポーツ空間バージョンアップ補助事業【新規】（再掲）

誰もが身近な場所で安全に多様なスポーツを楽しめる空間を整備し、都民の日常にスポーツが溶け込んでいる「スポーツフィールド・東京」と、スポーツを通じた共生社会の実現を目指すため、区市町村が地域のニーズ等に応じて行うスポーツ空間のバージョンアップに係る取組を支援する。

（対象事業については212ページ1(3)キ「区市町村におけるスポーツ振興施策への支援」参照）

サ 区市町村スポーツ実施促進事業（パラスポーツ推進事業）【再掲】

パラスポーツ推進事業においては、パラスポーツへの関心向上や障害のある人のスポーツ実施促進につなげるために区市町村が行う事業を支援することにより、障害のある人が身近な地域で継続的にスポーツを楽しめる環境の拡大・整備を図る。

（対象事業については212ページ1(3)キ「区市町村におけるスポーツ振興施策への支援」参照）

(3) 支える人材の育成（人材育成事業）

ア パラスポーツセミナー

区市町村職員やスポーツ推進委員、医療福祉関係者等を対象にセミナーを開催し、地域のパラスポーツ事業を支える人材の育成を図る。

【令和4年度実績】

対象者別	実施日	参加人数
区市町村職員等	令和4年6月23日（木）	35名
教職員等	令和4年8月9日（火）	18名
スポーツ推進委員等	令和4年12月17日（土）	38名
医療福祉関係者等	令和5年1月28日（土）	28名

イ 初級・中級パラスポーツ指導員養成講習会

パラスポーツの現場で実際に指導・支援に当たる人材を養成し、地域におけるパラスポーツの取組を促進する。

※ 公益財団法人日本パラスポーツ協会による公認資格

【令和4年度実績】

	実施日数	参加人数
初級障がい者スポーツ指導員養成講習会	5日間	57名
中級障がい者スポーツ指導員養成講習会	9日間	16名

ウ パラスポーツ人材の活動活性化事業

障害者スポーツボランティアポータルサイト「TOKYO障スポ&サポート」を通じてボランティア人材にイベント等の情報を提供し、活動機会の拡充を図るとともに、ボラン

ティアコーディネーターにより、ボランティア人材と活動場所とのマッチングを行う。

また、ボランティア活動に必要な知識やスキルなどが学べるe-learning講座等により、活動を促進する。

さらに、活動経験が少なく不安を抱えているパラスポーツ指導員等を対象にした「リ・スタート研修会」や地域のパラスポーツ事業に参加して、実際の指導経験を積んでもらう「地域事業参加型指導員育成事業」、パラスポーツを支える人材に活動に関する最新の情報提供を行う「パラスポーツフォーラム」を開催し、パラスポーツ人材の資質向上を図る。

【令和4年度実績】

イベント・研修	実施日（募集回数）	参加人数
リ・スタート研修会	令和4年9月10日（土）	16名
地域事業参加型指導員育成事業	14回	42名
障害者スポーツフォーラム	令和5年2月12日（日）	147名



障害者スポーツフォーラムの様子



地域参加型指導員育成事業の様子

エ パラスポーツ研修キャラバン事業

パラスポーツ振興の担い手となる団体が主催する研修会等に講師を派遣し、主体的にその構成員に向けてパラスポーツの知識・情報を付与する仕組みを構築することで、パラスポーツの理解促進及びパラスポーツを支える多様な担い手を育成する。

【令和4年度実績】

派遣先	実施日	参加人数
東京都理学療法士協会	令和4年10月16日（日）	32名
東京都レクリエーション協会	令和4年10月21日（金）	36名
東京都作業療法士会	令和4年11月26日（土）	36名
東京都スポーツ推進委員協議会	令和4年12月3日（土）	72名
東京都手をつなぐ育成会	令和5年2月22日（水）	200名
東京都体育協会	令和5年3月11日（土）	32名

(4) 競技力向上

ア パラスポーツ次世代ホープ発掘事業

都内からパラスポーツの次代を担う選手を輩出することを目的に、競技体験等を通じて競技スポーツとのマッチングを行う発掘プログラムを開催するとともに、競技活動への継続・定着を促すため、発掘プログラムに参加した方を対象として、実技・座学を組み合わせたスポーツ理論講習会や自身の体力到達度を確認するための体力測定会をフォロープログラムとして実施する。

なお、発掘プログラムについては、東京2025デフリンピックの開催に合わせて、令和4年度第2回からデフ競技の実施を開始した。

【令和4年度実績】

・発掘プログラム

第1回 令和4年9月23日（金） 中央区総合スポーツセンター 73名

第2回 令和4年11月26日（土） 武蔵野の森総合スポーツプラザ 61名

・フォロープログラム（全9回）

実施内容：スポーツ理論講習会 等

実技と座学によるスポーツ理論講習を実施



発掘プログラムの様子（車いすバスケットボール、デフ自転車の競技体験）

イ パラスポーツ競技活動支援事業

中央競技団体がJPCに加盟している競技の都内統括団体が行う、選手の強化育成や指導者の養成等を目的とした各団体の自主的な取組を支援することで競技力向上を促す。

【令和4年度実績】

14団体

ウ 東京都障害者スポーツ強化練習会

全国障害者スポーツ大会での東京都選手の活躍を目標に、正式競技の強化練習会等を開催し、選手の競技力を強化する。

【令和4年度実績】

強化練習会等 106回

エ 東京パラアスリート強化事業

東京ゆかりのスター選手が継続的に輩出され、国際大会で活躍するよう東京ゆかりのパラアスリートやジュニアパラアスリート（新規）の強化を行う。

また、パラアスリートを支えるガイドランナーやコーチなどの「パラスポーツスタッフ」

の活動環境の整備等を行い、パラアスリートの一層の競技力向上を図る。

【令和4年度実績】

- ・「東京ゆかりパラアスリート」認定者数 96名
- ・「東京パラスポーツスタッフ」公認者数 46名

オ パラスポーツ団体体制強化支援事業

都内で活動するパラスポーツ競技団体の組織基盤強化および運営能力向上を図り、スポーツ庁が策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」に適合する団体となるよう複合的な支援を行う。

【令和4年度実績】

- ・集合型研修会 5回
 - ※ オンライン開催（ライブ配信、アーカイブ配信）
- ・事務サポート 8回
- ・専門家相談 1回
- ・外部連携（プロボノ）プロジェクト実施2団体

カ パラスポーツ人材地域活動促進事業

都が支援してきたパラスポーツ選手、スタッフ及び競技団体等が講習会等を通じて、これまで培ってきた技術や経験などを地域に還元できるよう、講習会を企画する団体等とアスリート等のマッチングを行う。これにより、パラスポーツの普及や競技スポーツを実施する人の裾野を拡大させる。



パラスポーツ人材地域活動促進事業 ホームページ

【令和4年度実績】

マッチング 42件

キ パラスポーツオープン競技大会の開催

都民のパラスポーツに対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進するとともに、競技団体の活動活性化や競技スポーツ実施者の裾野拡大のため、東京都障害者スポーツ大会において、障害のない人も参加できる競技をオープン競技として実施する。

【令和4年度実績】

2競技（ハンドサッカー、精神障害者フットサル）

ク 東京都障害者スポーツ大会

パラスポーツを通じて、自らの体力の維持増進及び社会への参加と相互の交流を促進させるとともに、都民の障害のある人に対する理解の増進を図り、もって障害のある人の自立の促進とスポーツ振興に寄与することを目的に実施する競技大会であり、全国障害者スポーツ大会の派遣選手選考会を兼ねる。

本大会の開会式は障害のある人もない人も、ともにスポーツに親しむ場として、都民体育大会と東京都障害者スポーツ大会の合同開会式を開催する。

【令和4年度実績】

競技種目	個人競技	陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球（サウンドテーブルテニス含む。）、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ、スポーツの集い（8競技）
	団体競技	バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、グラウンドソフトボール、バレーボール、サッカー、フットソフトボール（7競技）
会場	駒沢オリンピック公園総合運動場ほか	
出場者数	3,918人	

ケ 全国障害者スポーツ大会への選手・役員派遣

全国障害者スポーツ大会は、障害のある選手が、パラスポーツの全国的な祭典に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加推進に寄与することを目的として開催されている。都では、東京都障害者スポーツ大会・関東ブロック予選会等を経て選出された選手や役員で構成される選手団を、本大会へ派遣している。

【東京都の競技成績】

	開催地	個人競技（人）			団体競技（チーム）
		1位	2位	3位	
第18回 （平成30年度）	福井県	106	47	27	優勝 7
第19回 （令和元年度）	茨城県	台風のため全競技中止			
第20回 （令和2年度）	鹿児島県	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期 （鹿児島県での開催は2023年）			
第21回 （令和3年度）	三重県	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
第22回 （令和4年度）	栃木県	88	53	35	優勝 5
特別 （令和5年度）	鹿児島県	令和5年10月28日（土）から10月30日（月）まで			

コ パラスポーツ競技用具ニーズ調査【新規】

スポーツ用の義足や車椅子の購入には公的給付制度がなく自己負担が高額となることや触れる機会が少ないことが競技スポーツへの参入障壁になっているとされている。

また、義足や車椅子利用者に関する統計や先行研究がほとんどないため、義足や車椅子利用者のニーズ等を把握するための調査を実施する。

サ デフスポーツ競技団体都内活動促進事業【新規】

東京2025デフリンピックに向け、デフスポーツの競技力を向上させるとともに、都民のデフスポーツへの関心を高めることを目的として、JPCに加盟するデフスポーツ中央競技団体が都内で実施する強化合宿や普及啓発活動等に対し、財政的支援を実施する。

シ 後援名義の使用承認

都内で開催されるスポーツ大会等の中で、公益性があり、選手の競技力向上など、都のパラスポーツの推進に寄与する行事について、後援名義の使用を承認している。

【令和4年度実績】

33件